第109号　2025(令和7)年 7月15日

跡見学園女子大学 学報

新座キャンパス

2025（令和7）年3月18日（火）、文京シビックホールにて、第57回学部卒業式・第19回大学院修了式が挙行され、学部卒業生796名、大学院修了生16名が巣立っていきました。また、4月3日（木）には第61回入学式が行われ、学部新入生472名、編入学・学士入学生7名、大学院修士課程新入生10名の計489名を新たに迎えました。新入生からは、「学科専門科目で専門的なことを学びたい」「サークル、インターンシップ、紫祭に参加するのが楽しみ」といった声が寄せられています。学生の皆さんには、学業はもちろん、新座キャンパスでの季節の移ろいや友人との交流を通じて、充実したキャンパスライフを送ってほしいと願っています。

跡見学園は今年、創立150周年を、跡見学園女子大学は創立60周年を迎えました。これを機に、本学では3つの改革に着手いたします。改革の進捗については、随時大学ホームページ等でお知らせしてまいります。本学は、学生が自らの将来像を自分の言葉で語れるようになることを目指し、多彩な教育プログラムと手厚いサポートを通じて、自己実現できる力を育んでまいります。今後とも、保護者ならびに関係者の皆様のご理解とご支援をお願いいたします。

記事内容

○学長挨拶　○役職者一覧（2025年4月1日現在）…… 2
○学園創立150周年を機に「3つの改革」を進めます　○桜まつりが開催されました …… 3
○国際交流活動の紹介 …… 4～5
○地域交流活動の紹介 …… 6～7
○学生会情報　○跡見花蹊記念奨学生表彰・跡見校友会一紫会大学院奨学生表彰 …… 8
○紫祭（大学祭）のご案内　○CLUB NOW　○学生課・学生会共催イベント 新年会実施報告 …… 9
○2024（令和6）年度就職活動総括と今後 …… 10
○就職部での取り組みについて …… 11
○2025(令和7)年度入試総括　○跡見校友子女推薦入学試験のご案内　○2026(令和8)年度入試TOPICS … 12
○2025(令和7)年度新任教職員紹介　○2025(令和7)年度名誉教授　○特任教授のご紹介
○大学を離れた方々 …… 13
○オープンキャンパスのご案内 …… 14
○図書館トピックス　○科目等履修生のご案内　○2025（令和7）年度行事予定 …… 15
○花蹊記念資料館コレクション　○公式SNS紹介 …… 16

学長挨拶

ご挨拶

跡見学園女子大学　学長
小　仲　信　孝

学園創立150周年の今年、本学は3つの大きな改革に取り組んでいます。

① 令和8年4月に理系学部の新設を予定しています。文理融合型の「情報科学芸術学部」（仮称・設置認可申請中）を文京キャンパスに設置します。AI（人工知能）やデータサイエンス（情報科学）、メディアアート（情報芸術）などの専門知識と技能を身に付け、デジタル社会で活躍する人材を育成するためです。

② 学部学科再編を行います。学科の募集停止を含めて入学定員規模の適正化を図ることで、学生ひとり一人に対してきめ細やかな指導ができる教育体制の構築を目指します。

③ キャンパスを文京キャンパスに一元化します。2029年度をめどに、学部や学年を超えて学び合い、交流を深めることができるように、アクセスのよい文京キャンパスで全学生が4年間学べる教育環境を整備します。

急速な少子化の時代を迎え、日本の大学は将来を見据えてさまざまな改革を進めています。なかでも女子大学は、存続意義自体を問われる状況にあります。こうした厳しい環境を生き抜き、女子大学としてこれからも存続していくためには、改革が必要です。時代の変化と社会的ニーズに応じて教育内容を刷新していくことが大切です。

創立者跡見花蹊先生が女子教育の新たな道を切り開いてから150年。本学は今、歴史的転換を図ろうと挑戦を始めています。将来に向けて、新しい大学に生まれ変わるための挑戦です。花蹊先生が掲げた「自律し自立した」女性を育成するという教育目標は変わりませんが、時代のニーズに合致した大学へと進化していきます。

〈打ち破れ、自分。〉学生の皆さんも、大学の4年間、自分の可能性を広げるための努力を続けてください。皆さんの将来には多様な選択肢が用意されています。その中から「自分だから」できることを探し出しましょう。キャリアデザインを学び、変化が激しく、価値観が多様化する時代の中で、自分らしく輝き、変化をチャンスに変えることができる人に成長することを期待しています。

令和7年度入学式の様子

役職者一覧（2025年4月1日現在）

- 学長 …… 小仲　信孝
- 副学長 …… 塩月　亮子
- 副学長 …… 石田　信一
- 文学部長・人文科学研究科長 …… 森　まり子
- マネジメント学部長・マネジメント研究科長 …… 曽田　修司
- 観光コミュニティ学部長 …… 佐野美智子
- 心理学部長 …… 松嵜くみ子
- 全学共通科目運営センター長 …… 西田　晴美
- 図書館長 …… 丸岡　吉人
- 花蹊記念資料館長 …… 栗田　秀法
- 情報メディアセンター長 …… 板東　充彦
- 心理教育相談所長 …… 下山　晴彦
- 地域交流センター長 …… 土居　洋平
- 事務局長 …… 大坂　晴美
- 教務部長 …… 坪原　紳二
- 学生サポートセンター長 …… 櫻川　幸恵
- 就職部長 …… 石渡　尚子
- 入試部長 …… 照井　和尋

学園創立150周年を機に「3つの改革」を進めます

跡見学園女子大学は2025（令和7）年の学園創立150周年を機に3つの改革を始動させます。

1つ目の改革として、2026（令和8）年4月、文理融合型の理系学部「情報科学芸術学部」（仮称・設置認可申請中）を文京キャンパスに新設する予定です。この学部では、デジタル・情報化社会に求められるAI（人工知能）やデータサイエンス（情報科学）の専門知識と技能を身につける一方、コンピューターを活用したメディアアート（情報芸術）を学び、表現力や独創性を磨きます。

情報科学と芸術は、これまで別々に学んだものでした。この両方を融合させることで身につく、柔軟で複眼的な思考こそ、複雑化する現代社会に求められています。AIで引き出せる常識的なモノの見方や考え方を超えた発想や創造力が、これからの社会には必要です。「科学」と「芸術」双方の分野を学ぶことで、そうした力を高め、これからの社会で活躍し、未来を切り拓く人材を育てたいと考えています。

情報科学芸術学部は、2028（令和10）年の竣工を目指して、文京キャンパスの近くに新学部棟を建設します。「AIにはまだできないことで、『あなたができること』を見つける4年間」。新学部が打ち出すこのコンセプトの実現に向けて準備を進めています。

2つ目の改革として、学部学科再編を進めます。2025（令和7）年度で文学部コミュニケーション文化学科、マネジメント学部生活環境マネジメント学科、観光コミュニティ学部まちづくり学科の3学科を募集停止し、文系、理系、芸術系の幅広い学問分野を横断的に学べる教育環境を再構築します。全体の入学者を抑え、学生一人ひとりに対する教員のきめ細やかな指導を実現し、教育研究の質向上を図ります。一生使える「教養力」と「実践力」を身につける全学共通科目カリキュラムを学びながら、学科専門科目で専門知識を深め、学生に学びと成長を提供できる大学へと、より進化します。

3つ目の改革として、2029（令和11）年度をめどに、埼玉県新座市と東京都文京区に分かれているキャンパスを、東京都心の文京キャンパスに一元化します。学年、学部を超えて学生が交流できる環境を整備します。自然と文化にあふれた環境の良い文京区への集約は、早期化するインターンシップや就職活動の利便性を高めることにつながります。学生の自己実現をより強くサポートしていきます。

1875（明治8）年に跡見花蹊が創設した本学は、日本人による国内初の女子の私学校です。「自律し自立した女性の育成」を志した花蹊の教育理念を継承・実現する大学として進化を続けます。

創立150周年
ATOMI GAKUEN

桜まつりが開催されました

2025（令和7）年3月29日（土）新座キャンパスにて「桜まつり2025」が開催されました。あいにくの雨模様でしたが、近隣にお住まいのご家族やご友人同士、ご卒業生など多くの方々にご来場いただきました。桜鑑賞とあわせて、キャンパス内の花蹊記念資料館での特別企画などにもご来館いただき、桜まつりをお楽しみいただけた様子がうかがえました。初めて桜まつりにご来場された方がほとんどでしたが、中には4回以上お越しくださっている方もいらっしゃいます。桜まつりが皆様にとって「今年も跡見の桜まつりの季節になったな」と思っていただけるような春恒例のイベントとなるよう、今後も開催してまいります。また、新座キャンパスには46種約170本の桜が植えられていますが、昨年新種が発見されました。桜まつり開催日から名称を募集し、現在選考中です。次回の桜まつりでは新しい名称で呼ばれている予定です。ぜひ、本学で誕生した桜を含め、次回以降の桜まつりにもお越しください。

国際交流活動の紹介

2024（令和6）年度　春期海外研修終了報告

2025（令和7）年2～3月に、アメリカとドイツで春期海外研修を実施しました。計15名の学生が3～4週間の充実した時間を過ごしました。語学学習や文化に触れるだけでなく、現地の学生やホストファミリー、地域の方々と交流し、海外研修ならではの体験を通じて成長することができました。

アメリカ　ローワーコロンビアカレッジ

研修日程　2025(令和7)年2月15日(土)～3月11日(火)
参加学生　9名

ロングビュー市City Hallにて記念撮影

ドイツ　ミュンヘン大学

研修日程　2025(令和7)年2月8日(土)～3月10日(月)
参加学生　6名

ミュンヘン大学にてクラスメートと

2025（令和7）年4月8日（火）に新座キャンパスにて成果報告会を実施しました。
英語、ドイツ語を織り交ぜての発表が行われ、大きく成長した姿を披露しました。

英会話サロン・韓国語サロンのご案内

誰でも気軽に英会話や韓国語会話を楽しめる場として、「英会話サロン」「韓国語サロン」を開室しています。
英語も韓国語も話せないという方も大丈夫！気軽に参加することができます。いずれのサロンも無料です！

★英会話サロン★

- ネイティブの講師と自由に会話ができます
- 週4回の対面レッスンを各キャンパスで実施（予約不要）
- 出入り自由、ランチをしながら気軽にレッスン！
- 週1回のオンラインレッスンはマンツーマン！（予約制）

★韓国語サロン★

- 日韓バイリンガルの講師によるわかりやすいレッスン
- 週1回、各キャンパス交互に実施（予約制）
- ランチやお菓子を食べながら参加可能
- 韓服（チマチョゴリ）体験や、韓国の伝統のゲームで遊ぶ体験もあります

2025（令和7）年8月～9月にかけて、夏期海外研修を実施します。研修先・参加学生数は下記のとおりです。

- フランス　西部カトリック大学…… 7名
- 台湾　国立台湾師範大学…… 1名
- 韓国　東義大学校…… 4名

※2025(令和7)年度春期海外研修については、10月頃ポータルにてご案内します。

中長期留学を振り返って

2024（令和6）年度にアメリカにて１年間の留学をした学生が無事帰国しました。中長期留学を振り返った感想をご紹介します。

観光コミュニティ学部　観光デザイン学科　４年　星野愛果さん

私はアメリカ・ワシントン州にあるLower Columbia Collegeに、３年生へ進級するタイミングで１年間休学して留学しました。私は高校入学当時から海外で学びたいと考えていましたが、新型コロナウイルスの影響で叶わず、大学では必ず参加できるよう授業に真面目に取り組みました*。跡見では短期の海外研修プログラムと中長期の留学プログラムがありますが、じっくりと学びたいと考え、１年間の中長期留学を希望しました。留学前はネイティブの人と会話をする際に恐怖心があり緊張しましたが、留学を経た今では人前で自信を持って英語を使って話せるようになりました。Lower Columbia Collegeの先生や学生は優しく、真剣に耳を傾け私の話を聞いてくれました。その中でミスすることを恐れず会話することが大切だということを学びました。

私は、１年間留学するにあたり、現地の大学の授業に参加できるレベルに語学力を高めることを目標にして臨みました。留学直後の２学期間は、英語を第二言語として学ぶクラスで語学の基礎を学びました。次の学期から目標に達することができ、ネイティブの学生と一緒に大学の授業を受けることができるようになりました。慣れるまでは不安や心配なことがありましたが、先生は私が理解できる簡単な言い回しや単語を使い説明をしてくださり、最終的には良い成績を取ることができました。その先生には感謝しかありません。また、授業だけでなく休日も充実した生活を送ることができました。その中で１番の思い出は、みんなでNBAを見に行ったことです。大学でも学生のクラブチームのバスケットボールの試合を見ていたため、楽しんで見ることができました。他にも留学生の寮で開催されるパーティーや日帰り旅行、映画鑑賞など様々なアクティビティがあり、それらを楽しみに授業も頑張っていました。さらに、一緒に授業を受けていた学生ととても仲良くなり、彼女とは家族旅行やパーティー、夜ご飯を食べに行くなど、たくさんの思い出をつくることができました。その出会いは私の中でとてもかけがえのないものであり、帰国した今でも頻繁に連絡を取りあっています。日本にも興味があるそうなので、ぜひ遊びに来てもらい日本を案内したいと思っています。

この留学は私の人生でとても貴重な経験であり、これからも忘れることができない思い出です。授業についていくために努力したことや、日々目にしていた景色など、アメリカで過ごした毎日はすべてが大きな財産です。今後はこの留学の経験や語学力を生かして将来の夢を叶え、活躍できる人になりたいと考えています。

＊協定校への中長期留学の学内出願には、通算GPA2.5以上が必要。

スターリング大学日本語クラスとのオンライン交流会

2025（令和7）年５月24日（土）スターリング大学日本語クラスとのオンライン交流会を行いました。スコットランド時間では午前10時半から、日本時間では18時半からという時差を超えての交流会でしたが、跡見から９名の学生が参加しました。まずは挨拶の「こんにちは」の紹介から始まり、跡見の学生は発話とお辞儀のタイミングについて、見本を示しました。その後、グループに分かれ、日本語や日本文化を紹介しながら交流を深めました。これを縁に引き続き交流が深められることを望みます。

Teams「国際交流課 Information」

国際交流に関する情報を随時発信！

チームコード：xbmva5o

海外研修や英会話サロン、韓国語サロンなどに興味がある方、最新情報をリアルタイムで知りたい方はぜひご覧ください。（学生のみ）

役立つ情報がたくさん！

地域交流活動の紹介

刊行物のお知らせ

地域交流センター年次報告書６ ゆかり

地域交流センターでは、このたび2024（令和6）年度の活動をまとめた「年次報告書ゆかり」を刊行いたしました。今号で6回目の刊行となります。

本報告書では、地域住民との交流イベントやワークショップの開催状況、ボランティアをはじめとした地域交流活動の実績、各種講座の参加者数など、1年間の取り組みをふり返り、ご紹介しています。また、企画に参加した方々の声やアンケート結果をもとにした改善点、今後の課題と展望についても記載しています。

地域の皆さまのご協力により、多くの交流と学びの場が生まれた一年となりました。本学地域交流センターでは、これからも自治体・産業界・地域住民の皆さまと連携し、地域活性化や地域課題の解決に向けた取り組みを推進してまいります。

報告書はホームページからPDF形式で閲覧・ダウンロードが可能です。ぜひご一読いただき、今後の活動にもご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

（データ版はこちら）

地域交流センターブックレットVol.5 赤ちゃんとママを守る避難所づくり

本学は、文京区と「災害時における母子救護所の提供に関する協定」を締結し、災害時に「妊産婦・乳児救護所」を開設する施設に指定されています。女子大学という特性を生かし、有事の際に、地域の妊産婦･乳児が安心して過ごせる環境整備を進めています。その一環として、2024（令和6）年9月28日、「赤ちゃんとママを守る避難所づくり」をテーマにしたシンポジウム・ワークショップを開催しました。当日は、妊婦さんやお子様連れのご家族、学生、文京区職員、助産師、他大学の有識者や専門家、本学教職員等が総勢100名以上集まり、「赤ちゃんとママ」に必要な備えやサポートについて様々な立場から意見を出し合い、議論しました。

本シンポジウム・ワークショップは、日頃の関係づくりの重要性を再認識する機会となりました。当日の様子を記録したブックレットを刊行しましたので、ぜひご覧ください。本学ホームページから、PDF版もご覧いただけます。

（データ版はこちら）

旧伊勢屋質店「質物台帳 データ集」を刊行しました！

旧伊勢屋質店 質物台帳 データ集

2015（平成27）年に跡見学園が取得した文京区本郷にある「旧伊勢屋質店」（菊坂跡見塾）※1では、『跡見「学芸員」in菊坂』という学生団体が、教育研究活動の一環として文化財保護に取り組んでいます。

旧伊勢屋質店には断片的ではあるものの、昭和7年から昭和42年に至る約36年間分、伊勢屋質店柳町支店および柳町支店廃業後の菊坂本店で使用されていた質物台帳が残っています。それらを保存するだけではなく、そこに記載された内容を読み解き分析しようと、2023(令和5)年には跡見「学芸員」in菊坂の活動の一環として「台帳プロジェクト」が立ち上がりました。今回取り上げた質物台帳は、1937(昭和12)年11月から1938(昭和13)年12月まで伊勢屋質店柳町支店で使用されていたものです。内容の分析に先立って、学生が中心となり、質物台帳に記載された手書きの情報を「翻刻」する作業に取り組みました。約2年間をかけて、見開き106ページ分の翻刻を行い、一昨年、昨年とこれらの成果をふまえた展示も現地にて行いました。

質札を活用したハタキの展示の様子

尚、本書は日頃の活動にご協力いただいている学内外の皆様に、冊子にてお届け致しました。ホームページの「お知らせ」（2025年4月24日）より、刊行物のPDF版も公開しております。ぜひご覧いただき、旧伊勢屋質店および文京区・本郷界隈のかつての暮らしの様子を感じて頂ければ幸いです。

今年度も有志学生メンバーが文化財保護活動、地域イベント、企画展の開催等の各種活動をしてまいりますので、引き続きご期待ください。

（データ版はこちら）

※1　明治時代に樋口一葉が通ったことでも知られる質屋。2015(平成27)年に学校法人跡見学園が取得し、一般公開等をしています。2016(平成28)年3月には文京区指定有形文化財に指定されました。教育施設として活用することはもとより、週末は一般公開も行っています。

「令和６年度　文京区の大学に通う学生による地域活動報告会」に参加しました

2025（令和7）年3月10日、文京区社会福祉協議会 主催「文京区の大学に通う学生による地域活動報告会」が日本女子大学にて開催されました。本報告会は、文京区学生支援担当者連絡会（各大学の学生支援担当者および文京区社会福祉協議会のメンバーで構成）が主催となり、文京区内の大学や団体に所属する学生による、地域貢献活動の取り組みについての発表会です。発表会を通して、各々の地域交流活動を共有することが目的となります。報告会では、文京区にキャンパスを置く大学のうち7大学から、全12事例の発表が行われました。本学からは3団体が登壇し、発表を行いました。

まずは、「行こうよ！文京浴場♨～学生プロジェクト～」です。跡見学園女子大学と拓殖大学の有志学生による団体で、文京浴場組合と連携し、区内にある4つの銭湯を広報し、地域活性化を目指して活動しています。銭湯内での縁日イベント等の取り組みについて報告を行いました。

続いて、「跡見学園女子大学 心理学部 板東ゼミ」による「若者の居場所支援における学生ボランティア活動」の報告です。板東ゼミでは、「コミュニティ心理学」をテーマとして扱っており、特定非営利活動法人 サンカクシャが取り組んでいる「若者の居場所づくり活動」への参加報告を行いました。

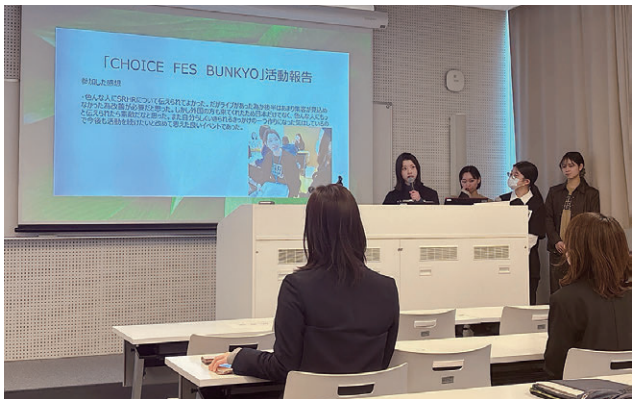
最後は、「I LADY.」の発表です。この団体は、主に10代から20代へSRHR（性と生殖に関する健康と権利）を多くの人に伝えるための活動を行っています。東京ドームのラクーアで行ったミニセッション等についての報告を行いました。

全団体の発表のあとには、大学や各団体の垣根を越えて交流することを目的としたグループワークが行われました。初めは緊張する様子が見られましたが、地域活動を通して得られた学びや、活動における悩み、今後の課題などを共有し合うことで徐々に打ち解け、新たな交流を生み出すきっかけとなった様子でした。

最後には参加した学生全員で集合写真を撮り、会は盛況のうちに終了しました。

「行こうよ！文京浴場♨～学生プロジェクト～」による発表の様子

「心理学部 板東ゼミ」による発表の様子



「I LADY.」による発表の様子

グループワークの様子

地域交流センター公式Ｘのお知らせ

地域交流センター公式Ｘアカウントでは、地域イベント、ボランティア情報、学生活動の様子などを日々、投稿しています。ぜひフォローをお願いします！！

学生会情報

学生会本部　会長　**都築　奈々さん**

夏空がまぶしい季節となりましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

この度、2025（令和7）年度学生会本部会長を務めさせていただくことになりました、文学部現代文化表現学科3年の都築奈々と申します。

1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

学生会本部では、4月2日に新入生を対象とした「一人暮らしのガイダンス」を実施しました。新生活を安全に、そして安心してスタートできるよう、警察署の方やカウンセラーをお招きし、防犯や生活に関するお話を伺いました。また、参加者同士の交流を深めるためのレクリエーションを行い、慣れない環境に緊張しながらも、新たなつながりを楽しむ新入生の姿が見られました。

4月8日には「新入生歓迎会」を開催しました。昨年度に引き続き、午前・午後の2部制で実施し、多くの新入生をお迎えすることができました。天候にも恵まれ、各団体の紹介やパフォーマンスが行われた花蹊メモリアルホールは大きな盛り上がりを見せました。グリーンホールでは、各団体による個別相談会を実施し、クラブ等の活動紹介や履修登録に関する相談対応を行いました。

多くの新入生にご参加いただき、在学生として大きな刺激を受ける、実りある一日となりました。

学生会本部では、今後も学生の皆さまに楽しんでいただけるよう、さまざまなイベントを企画しております。

秋頃は、毎年好評をいただいている「テーブルマナー講習会」の開催を予定しています。今年度は初めて中華料理をテーマとするため、例年とはひと味違う内容となる予定です。ぜひご参加ください。

また、冬には恒例の「クリスマスパーティー」を予定しております。各イベントを、皆さまに楽しんでいただけるよう学生会本部一同準備を進めておりますので、どうぞご期待ください。

さらに、10月25日（土）･26日（日）には、新座キャンパスにて「紫祭（ゆかりさい）」が開催されます。学生会本部では、模擬店の出店や、多くの方に楽しんでいただける企画を用意しております。年に一度の特別なこの日に、皆さまにお会いできることを楽しみにしています。

学生会本部では、これからも学生生活をより快適に、そして充実して過ごせるよう努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

跡見花蹊記念奨学生表彰

2025（令和7）年6月21日に学業奨励賞として跡見花蹊記念奨学生40名が表彰されました。奨学生は前年度の学業成績上位者から選考され、表彰状と奨学金（授業料一学期分相当額）が支給されました。

	2年生	3年生	4年生	計
文学部人文学科	1名	2名	3名	6名
文学部現代文化表現学科	2名	2名	3名	7名
文学部コミュニケーション文化学科	1名	1名	1名	3名
マネジメント学部マネジメント学科	2名	3名	3名	8名
マネジメント学部生活環境マネジメント学科	1名	該当なし	1名	2名
観光コミュニティ学部観光デザイン学科	1名	2名	2名	5名
観光コミュニティ学部まちづくり学科/コミュニティデザイン学科	1名	該当なし	1名	2名
心理学部臨床心理学科	2名	2名	2名	6名
計	11名	12名	16名	39名

大学院2年生　**人文科学研究科　臨床心理学専攻**　1名

跡見校友会一紫会大学院奨学生表彰

2025（令和7）年6月21日に学業奨励賞として4名の跡見校友会一紫会大学院奨学生が表彰されました。奨学生は前年度の学業成績上位者の中から決定し、表彰状と奨学金（授業料の一学期分の二分の一相当額）が支給されました。

大学院2年生　**人文科学研究科　臨床心理学専攻**　4名

紫祭（大学祭）のご案内

紫祭実行委員会　委員長　**牧野　友香さん**

ごきげんよう。紫祭実行委員会です。

昨年度の紫祭は「桜雲～咲き誇る１ページに～」をテーマに開催いたしました。ご協力いただき、誠にありがとうございました。皆様のご支援のおかげで、多くの方々にご来場いただき、第57回紫祭を大成功に収めることができました。

さて、今年度開催する第58回紫祭のテーマは「桜霞～光輝く時を～」に決定しました。満開の桜が、遠目に美しい霞のようにみえる情景を表した「桜霞」のように、跡見学園女子大学の学生一人ひとりが遠くからでもわかるほどに美しく輝ける紫祭*にしたいという思いを込めました。

また、本年は跡見学園創立150周年、跡見学園女子大学創立60周年という大きな節目の年でもあります。皆様に楽しんでいただける紫祭*を作ると同時に、感謝の気持ちを込めてより一層心に残る紫祭*を作り上げてまいります。

今年度も参加団体による模擬店や発表など、皆様に楽しんでいただける企画を多数ご用意しております。さらに、跡見学園女子大学の歴史にちなんだブースの出展も予定しております。当日はぜひご来場いただき、昨年度以上にパワーアップした紫祭*をお楽しみいただければ幸いです。

昨年度よりもさらに盛り上がるものになるのではないかと、私たちも今からわくわくしています。

紫祭実行委員会をはじめ、参加団体一同、精一杯準備を進めてまいりますので、今後とも変わらぬご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。どうぞご期待ください。

＊紫祭とは、毎年秋に行われる本学の大学祭です。紫祭は、有志の学生からなる紫祭実行委員会（学生会に属する）によって自主的に企画・運営されます。

CLUB NOW

演劇部

部長　**中目　和香さん**

ごきげんよう。演劇部、劇団Ashです。

私たちは年に二回行っている公演を作り上げるため、放課後に週二回ペースで活動を行っています。

公演開催に向けての大まかな流れをご紹介します。まず、三か月前に台本を決めます。台本は部員が書いたり、インターネットの台本をお借りしたりします。台本が決まったら次は役を決めます。やりたい役に立候補して、オーディションで決めています。役決めが終わったら台本の読み合わせをし、立ち稽古が始まります。立ち稽古とは、どこでどう動くのかを決める作業です。セリフを覚えながら、どんな舞台にしていくのかを決めます。そして、本番と同じように通し練習をして、本番を迎えます。このように公演直前は本気で演劇に向き合っていますが、公演後などは簡単なゲームなどを行い、和気あいあいと楽しく活動しています。

演劇部では現在、新入部員を募集しています。大学から演劇を始めた部員が多いので、演劇未経験の方でも大丈夫です。役者だけではなく裏方も募集しているので、興味のある方はぜひ公式X（@GekidanAsh）までご連絡ください。

部員一同お待ちしております。

学生課・学生会共催イベント　新年会実施報告

2023（令和5）年度から始めた新年会は、新座キャンパスのみで開催していましたが、大変好評だったため2024（令和6）年度は、1月に新座・文京の両キャンパスでそれぞれ実施しました。学生会本部の学生が中心となり企画・司会進行を行い、食事をしながらレクリエーションを楽しみました。普段の授業で関わることが少ない他学部の学生と話す機会ができ、学生同士の新たな交流の場となりました。

2024（令和6）年度就職活動総括と今後

就職部長　石渡　尚子

＜2024（令和６）年度 就職活動の総括＞

本学における令和６年度の就職実績は、求職率91.2％、就職率97.7％でした。就職率は昨年度から1.0ポイントの減少となりましたが、依然として高い水準を維持しており、多くの学生が主体的にキャリア形成に取り組んだ結果といえます。この年の大卒求人倍率は「1.75倍」と売り手市場が続いたものの、一般職（事務職）など人気職種の求人は限られており、進路選択の難しさも感じられました。

企業の採用活動はさらに早期化が進み、前年10月以前から情報発信をスタートする企業の動きが広がっています。学生も、夏季･秋季のインターンシップ等を通じて、早期から準備を進める動きが定着してきました。

また、選考方法としては、オンラインと対面を併用する「ハイブリッド型」の選考が主流となり、録画面接やAIによる面接などの新たな手法も導入されました。こうした採用環境の変化に対し、学生は柔軟に対応しながら、自身のキャリアに真摯に向き合った一年でした。

2024（令和６）年度卒業生の就職実績　　単位（人）

学部	学科	卒業者数	求職者数	求職率	就職者数	就職率
	人文	138	120	87.0%	118	98.3%
	現代文化表現	129	123	95.3%	118	95.9%
	コミュニケーション文化	89	86	96.6%	86	100.0%
文学部	**計**	**356**	**329**	**92.4%**	**322**	**97.9%**
	マネジメント	160	150	93.8%	147	98.0%
	生活環境マネジメント	53	52	98.1%	52	100.0%
マネジメント学部	**計**	**213**	**202**	**94.8%**	**199**	**98.5%**
	観光デザイン	89	83	93.3%	81	97.6%
	コミュニティデザイン	29	27	93.1%	25	92.6%
観光コミュニティ学部	**計**	**118**	**110**	**93.2%**	**106**	**96.4%**
	臨床心理学科	128	102	79.7%	99	97.1%
心理学部	**計**	**128**	**102**	**79.7%**	**99**	**97.1%**
全学合計		**815**	**743**	**91.2%**	**726**	**97.7%**
参考	前年度全学合計	1,057	965	91.3%	952	98.7%

①就職率…就職希望者に占める就職者の割合
②求職者…卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者（就職希望者）なお、「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない
③就職者…正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者
④調査時点は令和７（2025）年５月１日現在

＜2025（令和７）年度 就職活動の見通し＞（2025年５月１日現在）

2025年度（2026年３月卒業予定）の学生を対象とした企業の採用活動は、引き続き早期化が進む見通しです。経団連が示す採用スケジュールは「広報活動開始３月・選考活動開始６月」とされていますが、実際は前年秋から学生との接点を築く企業が増加し、年明けには選考が本格化する傾向が見られます。

リクルートワークス研究所の調査（2025年４月時点）によると、2026年大学卒業予定者に対する求人倍率は1.66倍で、前年よりやや低下したものの、企業の採用意欲は引き続き堅調です。特に文系人材については、学業を通して身につけた柔軟な思考力やコミュニケーション力が期待されています。学生にとっては自分の強みを理解し、言語化して伝える力がさらに求められるでしょう。

こうした動向を受けて、就職部ではキャリア支援を一層強化しています。２年次秋学期には全学生を対象の進路調査面談を実施し、早期からキャリアを考える機会を提供しました。３・４年次向けの就職支援プログラムも、オンデマンド配信に加えて対面による実践的な内容も取り入れ、Webと対面の利点を組み合わせたハイブリッド型で展開しています。また、新座・文京の両キャンパスで、学年を問わず相談できる体制を整えています。

株式会社キャリタスの調査（対象：2026年３月卒業予定の大学４年生、回答数：1,035人）によると、2025年５月１日時点での内定率は76.2％と、昨年同期（76.9％）とほぼ同水準でした。一方で、就職活動を終了した学生は全体の45.0％にとどまり、多くの学生が現在も活動を継続している状況です。「内定の見通しが立っている」と回答した未内定者は12.2％にとどまり、今後の取り組みが進路を左右する大切な時期といえます。

現在、就職活動を継続中の４年生の皆さんは、焦らず、自分のペースで活動を続けていきましょう。４年夏以降も就職部のサポートを受け、内定を得た先輩も多数います。困った時は、いつでも就職課にご相談ください。

また、１～３年生の皆さんも、インターンシップや業界研究、学内企業研究会などを活用し、自分の関心や適性を早い段階で知ることが重要です。キャリア支援のほか、正課授業においても複数のキャリア科目が開講されています。ぜひ授業や課外活動を通じて社会と繋がり、「自分は将来どのような社会人になりたいか」を考える時間を大切にしてください。そして、自分らしいキャリアの実現に向けて一歩ずつ準備を進めていきましょう。

就職部での取り組みについて

◆ 新座キャンパスにおける「1・2年生対象プログラム」

就職部では、自己成長の促しとキャリア意識の涵養を目的とした1・2年生対象プログラムを展開しています。

1年生全員を対象とした「進路ガイダンス」は、毎年入学式翌日に実施しています。就職や進学など多様な進路の選択肢を見据え、大学生活と将来のつながりについて考える内容です。2年生には、より実践的なキャリア支援として「プレキャリア講座」を春学期に実施しました。5月の講座では卒業生から、大学生活の過ごし方や就職活動について伺い、自分の将来を具体的にイメージするとともに、その実現のためには何が必要なのかを考えました。秋学期には、キャリアモデルとなる4年生や卒業生との交流を行う予定です。

こうしたプログラムを通じて、学生が社会においてどのように自己実現や社会貢献を果たしていくかを考える土台作りを行っています。

また、気軽に進路に関する質問ができる「なんでも相談会」も定期的に開催しており、学生に寄り添った支援にも力を入れています。今後も、学年や時期に応じた支援を通じて、学生一人ひとりが納得のいく進路選択を実現できるようサポートいたします。

進路ガイダンス

◆「ATOMIインターンシップ／就業体験2025」

夏季に実施する「ATOMIインターンシップ／職業体験」（全学部･全学科1～3年生対象）は、実際の職場を訪れ、就業体験や社員の方々との交流、現場見学などを通じて、業界研究や企業理解を深めることを目的としたプログラムです。

昨年度は54の企業・自治体のご協力のもと、97名の学生が参加しました。2025年度は55の企業・自治体にご協力いただき、7月17日からプログラムがスタートします。実習前にはビジネスマナー研修や目標設定、グループワークを行います。実習後は体験の振り返りを通して実習前後での成長を確認し、成果報告会に臨みます。

過去の参加学生からは「働くことへの具体的なイメージが持てた」「就職活動に向けた意欲が沸いた」などの声が寄せられました。本プログラムを通じて、学生が社会と接点を持ち、自身の進路を主体的に考えるきっかけとなるよう、期待しています。

ATOMIインターンシップ／就業体験

◆ 就職部のスタッフによる「ゼミ出張講座」

就職活動の早期化や長期化が進むなか、学生があわてずに適切な準備を進められるよう、就職部では教員と連携し、ゼミの時間を活用した「ゼミ出張講座」を実施しています。

対象は3～4年生のゼミで、就職活動の年間スケジュールやエントリー・面接の流れ、今からでも始められる自己分析や企業研究の方法などについて、就職部スタッフが丁寧に解説を行っています。説明に引き続き行う座談会では、学生の質問や不安をその場で解消し、その後の就職支援プログラムへの参加や個別相談につなげています。

参加学生からは「就職活動への意識が高まった」との声が多く寄せられており、今後も教員との連携を強化しながら、学生にとって身近でタイムリーな情報を提供します。

ゼミ出張講座

2025（令和7）年度入試総括

入試部長　照井　和尋

本学における2025（令和7）年度入試は、昨年度に続き大変厳しい結果となりました。

志願者は総数1,109名と、減少幅が大きかった前年の1,454名をさらに下回る状況となりました。学部別志願者数では、文学部467名（前年比78.8%）、マネジメント学部236名（同68.8%）、観光コミュニティ学部173名（同66.0%）、心理学部233名（同91.0%）と、いずれの学部も減少しており、入学者数の確保にも苦戦を強いられる結果となりました。

2021（令和3）年度以降、とりわけ昨年度入試での急激な志願者数の落ち込みに歯止めがかからなかった要因には、18歳人口の減少により大学全体の学生獲得競争が激化する中、2023（令和5）年度入試からの文部科学省の補助金支給基準の変更の影響により、上位総合大学が合格しやすい状況が続いていることがあげられます。それを受け、私大の年内入試での入学者確保も急速に進んでおり、依然として本学より上位の大学に合格しやすい状況にあります。加えて、時代とともにジェンダー観の変化がみられる中、女子だけで学ぶ意味、すなわち「女子大学の存在意義」が薄れつつあり、よりリアルな社会に近い共学を志向する流れも背景にはあります。

本学では、2025（令和7）年度入試においては、総合型選抜や公募推薦入試への併願制の導入や、入試成績上位者を対象に入学年次授業料を減免する「跡見特待生チャレンジ入試」の新設、また、一般入試A日程を3日間実施することで受験機会を増やし、社会全体が国際化強化への対応促進の流れの中で、外国人留学生入試も新規導入しました。

2026（令和8）年度入試においては、大学入試の主戦場が一層年内入試にシフトする中、学校推薦型選抜の出願資格を緩和し、総合型選抜Ⅰ期において高校での「探究学習」の成果を入試に活かせる「探究型」を新設、Ⅱ期・Ⅲ期を併願制に変更します。また、一般入試における成績優秀者への奨学金制度も新たに導入し、様々な方策で志願に繋げていきたいと考えています。

また、参加者が志願に結びつきやすい傾向にあるオープンキャンパスについては、2025（令和7）年度は高校生の進路選択の早期化の流れにも対応し、夏前の開催回数を増やします。その中で、学びの特色を受験生に訴求するため「体験型授業」を積極的に実施、その内容を通して、自らの志向に合った大学として実感してもらうことを狙いとしています。

2026（令和8）年度は、本学初の理系学部である「情報科学芸術学部」（設置認可申請中）の開設や、発展的な意味での既存学部の再編もスタートいたします。真に“選ばれる大学”になるべく、教職員一体となって本学の更なる発展のため力を尽くしてまいります。今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

跡見校友子女推薦入学試験のご案内

本入試は、本学在学生の姉妹および学園卒業生＜跡見学園女子大学、跡見学園短期大学（跡見学園女子大学短期大学部）、跡見学園高等学校の卒業生＞の**3親等以内の方**を対象とした推薦入試です。跡見学園の建学の精神や校風に深いご理解をいただく方々をより多く受け入れることにより、学園の伝統の継承・発展につなげていきたいと考えております。

対象　本学在学生の姉妹および学園卒業生の**3親等以内の方**

＊入学金については半額免除いたします。
＊評定平均値については、他の推薦入学試験に比して優遇措置をとっております。
＊出願をご希望の方は、一度入試課までご連絡ください。

試験日程

（Ⅰ期）出願期間：2025(令和7)年11月1日(土)～11月7日(金)締切日消印有効
試験日：2025(令和7)年11月16日(日)文京キャンパス
合格発表日：2025(令和7)年12月1日(月)

（Ⅱ期）出願期間：2025(令和7)年11月25日(火)～12月8日(月)締切日消印有効
試験日：2025(令和7)年12月14日(日)文京キャンパス
合格発表日：2025(令和7)年12月18日(木)

2026（令和8）年度入試TOPICS

日程や詳細は入試ガイドまたは公式ホームページをご確認ください。

！総合型選抜は「探究型」を加えた3種類の方式で実施

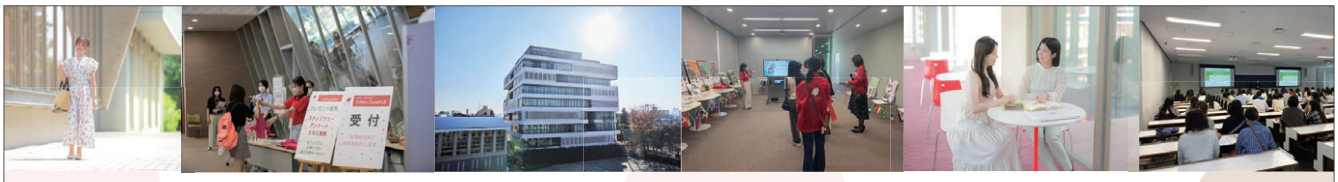
「一般型」「英語検定利用型」に加え2026（令和8）年度入試より「探究型」を実施いたします。
高等学校で行っている探究活動の成果を生かすことのできる入試です。

！跡見特待生チャレンジ入試を実施

「国語」「英語」の基礎力診断テストを受験いただき、合格の方は以下の合格種別により特待が受けられます。

種別	選考基準	特待内容
特待生S合格	2科目合計得点が70%以上の者を対象とし、成績上位者から選考する。	入学年次の授業料全額免除
特待生A合格	2科目合計得点が70%以上の者で、特待生S合格者に次ぐ者を対象とし、成績上位者から選考する。	入学年次の入学手続時授業料全額免除（年間の授業料の半額免除）
一般選抜免除合格	特待生合格にならなかった者を対象とし、一般選抜合格水準に達している者を合格とする。	授業料等の免除なし

※他の入試で既に本学への入学手続を完了している方の受験
本学の「総合型選抜」「学校推薦型選抜」に合格し、入学手続を完了した方も受験できます（本学専願の入試区分で入学手続を完了した方の出願は、入学手続を完了した学科への出願に限定）。
この場合、受験に関しての検定料はかかりません（無料）。



ATOMI OPEN CAMPUS SCHEDULE 2025

創立150周年 ATOMI GAKUEN

＼見学する／

新座キャンパス

7/13(日)
8/23(土)※キャンパス見学会
10/25(土)・26(日)※大学祭同時開催

文京キャンパス

7/20(日)
8/2(土)・8/3(日)※探究ワークショップ　総合型選抜対策
8/17(日)、9/14(日)、10/3(金)*
11/8(土)、11/23(日)、12/5(金)*
*10/3(金)、12/5(金)はナイト説明会

＼体験する／　＼知る／

跡見学園女子大学　https://www.atomi.ac.jp/univ/

【新座キャンパス】
〒352-8501　埼玉県新座市中野 1-9-6
【文京キャンパス】
〒112-8687　東京都文京区大塚 1-5-2

来場予約は大学公式サイトより
048-478-3338（入試課）

イベント詳細

LINE

お申し込みはLINEから
お願いいたします

図書館トピックス

●跡見学園創立150周年記念　茗荷谷図書館にて企画展示を実施中！

跡見学園は創立150周年を迎えました。その歴史を祝し、文京キャンパス茗荷谷図書館では「彼女のありかた、わたしの生き方。～女性たちをめぐる時代と学び、その変遷～」をメインテーマとした展示企画を開催しております。

年間を通し3回にわたって本学の蔵書の中から「女性たちをめぐる時代と学び、その変遷」に関する資料を展示いたします。ジェンダーレスが叫ばれる今、女性の位置づけ、それを踏まえての活躍、その系譜をみつめる機会になればと企画いたしました。

part1「物語を紡ぐ女性作家たち。」では、国内外や時代、ジャンルを問わず選び抜いた多彩な女性作家の作品を紹介いたしました。part2「時代を駆けた 伝説の女たち。」では、さまざまな時代を生き、足跡を残した女性たちにフォーカスし、ジャンヌ・ダルクやエリザベス女王、本学学祖・跡見花蹊を含むヒロインたちのエピソードが詰まった資料を紹介しています。そして最後を飾るpart3は「わたしたちのお仕事図鑑。」。卒業後の進路には何をどのように選ぶべきか、そのために必要な資格や心構えは何かなど、豊かな未来への示唆に富んだ図書を、多数展示する予定です。

1冊でも多くの資料が、学生の手にわたり、未来の糧となることを願っております。

本学の正規授業を受けてみませんか？　「科目等履修生のご案内」

本学では、生涯学習、社会人教育推進の観点から「科目等履修生」の制度を設けています。

この制度は、本学の授業科目の一部を学生以外の方が履修して、所定の成績を修めた場合には正規の単位が与えられるもので、本学への出願資格を満たしている方であれば、選考の上本学が定める授業科目の中から希望する科目を選んで授業を受けることができます。

費用は、科目等履修登録料が7,500円／1学期、及び科目等履修料10,000円（卒業生は5,000円／1単位）となっています。

秋学期の募集案内は大学のホームページにて掲載します。詳しくは、教務部教務課へお問い合わせください。
e-mail　d-kyomu@mmc.atomi.ac.jp　電話番号　03-3941-7420（文京キャンパス）

◆ 2025（令和7）年度 行事予定 ◆

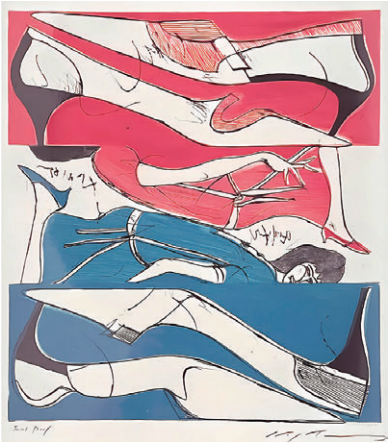
7月	9日(水)･10日(木)･18日(金)･19日(土)･21日(月)･22日(火)	授業評価期間
	16日(水)･23日(水)	補講日
	17日(木)	土曜授業実施日
	21日(月)	祝日授業実施日
	22日(火)	通常授業終了
	24日(木)	振替休日(7月21日分)
	25日(金)～31日(木)	春学期定期試験期間
8月	1日(金)	春学期定期試験予備日･追試験日
	2日(土)～6日(水)	成績再評価期間
	2日(土)～31日(日)	夏季休業(集中講義等あり)
9月	1日(月)～13日(土)	補講期間
	16日(火)～18日(木)	秋学期オリエンテーション期間
	17日(水)･18日(木)	秋学期1次履修登録申請期間
	19日(金)	9月期卒業式
	22日(月)･24日(水)	秋学期2次履修登録申請期間
	25日(木)	秋学期通常授業開始
	27日(土)･29日(月)	履修登録訂正期間(窓口受付)
10月	13日(月)	祝日授業実施日
	14日(火)	振替休日(10月13日分)
	23日(木)･24日(金)	紫祭準備日(休講)
	25日(土)･26日(日)	紫祭(休講)
	27日(月)	紫祭後片付け日(休講)
11月	3日(月)	祝日授業実施日
	4日(火)	振替休日(11月3日分)
	24日(月)	祝日授業実施日
	27日(木)	振替休日(11月24日分)
12月	13日(土)～22日(月)	卒論提出期間
	26日(金)～1月5日(月)	冬季休業
1月	6日(火)	通常授業開始
	7日(水)	月曜授業実施日
	8日(木)	創立記念日(休講)
	16日(金)	大学入学共通テスト準備日(休講)
	17日(土)･18日(日)	大学入学共通テスト実施(休講)
	14日(水)･19日(月)～24日(土)	授業評価期間
	21日(水)	補講日
	24日(土)	通常授業終了
	26日(月)～31日(土)	秋学期定期試験期間
2月	6日(金)･7日(土)	定期試験予備日･追試験日
	4日(水)･5日(木)･9日(月)～28日(土)	補講期間(集中講義等あり)
3月	1日(日)～31日(火)	春季休業
	4日(水)	卒業･修了発表
	11日(水)	進級発表
	16日(月)	卒業式

花蹊記念資料館コレクション

池田満寿夫（1934-1997）

《シンデレラの広告》

1966年、銅版画（ドライポイント、ルーレット）



昨年度、花蹊記念資料館は世界的な版画家・池田満寿夫のパートナーであった佐藤陽子（1949-2022）氏から池田作品6点の遺贈を受け、そのお披露目を兼ねて「久保貞次郎と現代版画」展を秋に開催しました。6点の内訳は、池田が銅版画家としてもっとも脂の乗りきった時期に当たる1962年から66年までの銅版画5点と、石版画によるカラフルな六曲一隻屏風です。いずれも代表作に数えられる優品揃いで、資料館の現代版画コレクションの厚みが格段に増しました。

本作品は、1966年の第33回ヴェネツィア・ビエンナーレに出品されたもので、世界が認めた池田のドライポイント技法の到達点を示すものです。この年のビエンナーレ日本館のコミッショナーを務めたのが後に跡見学園短期大学学長を務める久保貞次郎（1909-1996）で、抽象画家・オノサトトシノブ、抽象彫刻家・篠田守男、前衛美術家・靉嘔と並んで池田を出品作家として起用しました。池田は、このビエンナーレにおいて棟方志功以来10年ぶりに国際大賞を受賞し、一躍スターダムにのし上がりました。

上下の区画に一杯に拡大された二組のハイヒールが目に飛び込んできます。鋭く切れ味の良い刻線は池田の真骨頂といえるものです。加えて、ルーレットによる色面の赤と青の対比がたいへん鮮やかです。真ん中の区画には二人の女性の姿が描かれ、片方の女性はにこやかに振り向いています。上下の区画の背景の色と女性の衣服の色が繋がることで地と図が反転し、画面に不思議な効果が生じています。ちなみに、このハイヒールのイメージは、当時滞在中のニューヨークで見出した広告のイメージから取られたものであるようです。この靴を履けば白馬の王子が現れるような気分が横溢している作品であるといえましょう。

（花蹊記念資料館長・栗田秀法）

跡見学園女子大学公式SNS紹介

本学公式SNSアカウントでは、ゼミでの取り組みやクラブ・サークル活動などの在学生の様子、各種イベントや入試情報など、本学の取り組みをご紹介しています。在学生や保護者の皆様、また、本学に興味のある受験生の方々向けにも、さまざまな情報を発信しています。

Instagram
跡見学園女子大学
Atomi University（atomiuniv）

YouTube
【公式】跡見学園女子大学
「情報科学芸術学部」（仮称・設置認可申請中）や各学部の紹介PV公開中！

X
跡見学園女子大学
（@Atomi_univ）

LINE
跡見学園女子大学
受験生向けの最新情報を発信しています。ご興味のある方は、是非、友だち登録をしてみてください。

この冊子は、適切に管理されたFSC®認証林からの原材料および、再生資源やその他の管理された原材料から作られた、環境配慮型のFSC®認証紙を使用しています。

跡見学園女子大学学報　第109号

発行日　2025（令和7）年7月15日
発　行　跡見学園女子大学事務局庶務課
〒112-8687　東京都文京区大塚1丁目5番2号
電話03（3941）7420
URL　https://www.atomi.ac.jp/univ/